

横浜高等工業学校校歌



土井 晚 翠 作歌
中 田 章 作曲

♩ = 92

1. きぼうの ひかり うら、かの あけぼの
ともひらかれて しちじゅうよねんつ
きーにひに さかえい やますよこはま
のちはわがこうーのたつーところ

1. 希望の光うららかな
曙ともに開かれて
七十余年月に日に
栄いやます横浜の
地はわが校のたつ処

2. 国を富ましめ世を利する
基工業の華と咲き
実となる明日のわが理想
四海のはてを天領と
見て青春の血こそ湧け

3. 文化の具象百千の
大船小船住き通う
跡も心の励たれ
千古の雪の富士の嶺
かれも無言の教にて

4. 旗に象どる波のあと
広き遠きにあこがれて
自由の翼のせとこそ
感激長くああ健児
校のほまれを心せん